

政策の柱	Ⅱ 市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	施策名	① スポーツ活動環境の充実
------	------------------------	----------------	---------------------	-----	---------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆市民が主体的に身近な場所で気軽にスポーツができる環境を整えるため、地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援している。 ◆市民がスポーツを実施・観戦するなどの親しむ機会を充実するため、ジャパンカップサイクルロードレースやマラソン大会などの各種大会を開催するとともに、市スポーツ振興財団において各種スポーツ教室等を開催している。 ◆市民ニーズや高齢化に対応するため、スポーツ施設整備計画の見直しを行うとともに、スポーツ施設の計画的な整備・改修を進めている。	◆総合計画に掲げた活動指標について、20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率は、東日本大震災により体育施設に被害を受け、休館・休場した施設が多かったことの影響も考えられるが、減少している。 ⇒ H24末の状況としては、東日本大震災の影響により、節電が続くと予想されることから、夜間照明設備の利用の自粛などにより、夜間利用の減少が想定されるなど、目標の達成は難しい。	81.8%	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率 (中核市行政水準調査から)	%		34	36	39	41	44	81.8%
					31	38	38	37	36	38	86.4%
課題	◆地域スポーツクラブについては、身近な場所でスポーツができる環境を整えるため、新たにクラブの設立を図る必要がある。 ◆スポーツ施設の整備については、東日本大震災による被災施設の1日も早い復旧を図る必要がある。また、高齢化や社会状況の変化に対応した施設整備計画の見直しを行ったことから、計画的な整備を行う必要がある。 ◆国において、平成24年3月に「スポーツ基本法」に基づく「スポーツ基本計画」が策定されたことから、本市においても、「スポーツ振興基本計画」の見直しを行い、国や県の計画を参酌し、本市の実情に即した「(仮称)スポーツ推進計画」の策定を検討する必要がある。		市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22	H23		
					重要度	42.9	48.2	53.7	59.1		%
					満足度	30.1	31.3	31.2	36.7		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
地域スポーツクラブの育成	→	→	◆地域スポーツクラブの設立・運営を支援するため、各種補助制度やアドバイザー制度を活用し、クラブ数の増加や既存クラブの自立を図っているが、クラブ数は目標値に届いていない。 ⇒ H24に向け、設立に向けた動きがある地域に向けた説明会を強化するなど、新たな準備組織の設立を目指すことで、クラブ数の増加が図られる見通し。	◆地域スポーツクラブの育成に対する課題は、地域の特性に合ったクラブの設立を進めるため、地域の実情やニーズを捉えながら、設立に係る各種支援を強化するとともに、既存クラブがスポーツ振興だけでなく、まちづくりやいきがづくりなど大きく貢献していることからクラブの自立に向けた支援を行う必要がある。
プロスポーツの開催	→	→	◆ジャパンカップサイクルロードレースやクリテリウム、プロ野球の公式戦を開催するとともに、本市にはプロスポーツチームが3チームあり、いずれも活発に活動している。 ⇒ H24に向け、引き続きアジア最高位のジャパンカップサイクルロードレースやクリテリウムを開催するとともに、プロスポーツチームの支援やプロ野球公式戦の誘致を進めることにより、市のイメージアップや中心市街地の活性化が図られる見通し。	◆プロスポーツの開催に対する課題は、東日本大震災により清原体育館や清原球場などのスポーツ施設に甚大な被害が生じており、1日も早い施設の復旧とプロスポーツの開催に適した機能向上が必要となっている。
スポーツ施設の整備	→	→	◆スポーツ施設の整備については、河内総合運動公園の整備が完了するとともに、今年度、スポーツ施設整備計画の見直しを行い、水上公園プールの廃止や市体育館の大規模改修へ向けた実施設計を行うなど、選択と集中の考えを持って整備に取り組んでいる。 ⇒ H24に向け、施設の機能縮小や統廃合、更新や機能向上を含め、改定したスポーツ施設整備計画に基づき、引き続き計画的な整備が図られる見通し。	◆施設整備に対する課題は、東日本大震災による被災施設の1日も早い復旧に努めるとともに、安全性を確保し、市民ニーズや社会状況の変化に対応した計画的な整備が必要となっている。また、安定的・安全な利用の確保、さらには、効果的・効率的な施設運営を目指し、市体育館の大規模改修の内容や宮原運動公園のあり方などについて、検討する必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	地域スポーツクラブ活動支援	市民	H14	地域スポーツクラブ数	クラブ	2	6	10	14	18	A	継続	地域の特性に合ったクラブの設立を進めるため、地域の実情やニーズを捉えながら、設立に係る各種支援を強化するとともに、既存クラブがスポーツ振興だけでなく、まちづくりやいきがづくりなど大きく貢献していることからクラブの自立に向けた支援を実施していく。
				クラブ会員数	人	1,600	2,000	2,400	2,800	3,200			
2	スポーツ施設等の整備	市民, 利用者	-	工事实施施設数	施設	15	15	15	15	15	A	継続	生涯にわたるスポーツ活動促進に、スポーツ施設の整備は重要な事業であることから、市体育館の大規模改修をはじめ、市民ニーズや施設の老朽化等の状況を的確に捉えながら、スポーツ施設整備計画に基づき、計画的かつ着実な改修や機能向上を図っていく。合わせて、安定的・安全な利用の確保、さらには、効果的・効率的な施設運営を目指し、老朽化が著しく、東日本大震災により被災した宮原運動公園のあり方などを検討する必要がある。
				スポーツ施設の利用者数	人	1,290,000	1,315,000	1,340,000	1,365,000	1,390,000			
						1,442,000	1,445,000	1,385,000					

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
3	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	市民，市 外在住者	H4	観客数	人	61,000	61,000	62,000	62,000	63,000	A	継続	ジャパンカップサイクルロードレースは、本市サイクルスポーツの根幹を成す大会として本市のサイクルスポーツの振興や本市のPR・イメージアップ、地域の活性化に不可欠であることから、今後も大会の開催を継続するとともに、さらに大会を盛り上げる方策についても検討を進める。
4	体育文化振興公社運営補助金	財団法人	S56	補助対象人数	人	17	19	19	21	21	A	継続	宇都宮市スポーツ振興財団は、本市のスポーツ振興事業の主体的役割を担っていることから、補助を継続するとともに、今後の財団の方向性について、財団と協議を進める。
				管理するスポーツ施設の利用者数	人	1,000,000	1,030,000	1,150,000	1,175,000	1,200,000			
5	冒険活動事業（学校利用）	小4児 童，中1 生徒	H8	冒険活動参加者数	人	8,824	8,818	9,050	9,155		B	継続	次代を担う心豊かな宮っづくりの推進のため、冒険活動事業は有効である。学校教育スタンダードにおける「社会性の育成」のための「思いやりや共に生きる力の育成」をめざして、引き続き積極的に取り組んでいく。
						9,344	9,081	9,648	9,122				
6	マラソン大会の開催	市民，市 外在住者	S62	参加人数	人	4,900	5,000	5,500	6,000	6,500	B	継続	マラソン大会は、市民の健康づくりや生きがいづくりに効果的であり、大会への参加者も年々増加傾向が続いていることから、安全かつ円滑な大会運営に努めるとともに、種目の整理など大会の運営方法についても検討を進める。
						4,736	5,594	6,822	6,834				
7	市民体育大会の開催	市民	S38	開催種目数	種目	13	13	13	13	13	B	継続	市民体育大会は、本市競技スポーツの振興に寄与する大会であることから、市民ニーズを踏まえるとともに、競技団体等と連携を図りながら種目の追加・廃止など大会の運営方法について検討し、大会の開催を継続する。
				参加者数	人	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000			
8	スポーツ大会出場補助金	スポーツ 団体・個 人	-	スポーツ大会派遣事業助成件数	件	30	30	30	30	30	B	継続	全国大会への参加は、市民の競技力の向上につながるものであることから、今後も支援を継続する。
				大会参加人数	人	350	350	350	350	350			
9	スポーツ広場整備補助金	スポーツ 広場を設 置する団 体	H21	補助件数	か所	-	4	4	4	4	B	継続	身近な場所で気軽にスポーツに親しむ場を充実するために、スポーツ広場の整備は有効であるため、未整備地域を中心に周知啓発等を行いながら、補助を継続する。
						-	2	3	0				
10	スポーツ大会出場補助金（応援）	県外で開 催される 全国大会 に出場す る小中高 校	H21	応援補助実施校数	校	-	2	2	2	2	C	継続	全国大会への参加は、参加校の競技力の向上及び本市スポーツの振興につながるものであることから、今後も支援を継続する。
						-	3	1	3				
11	冒険活動事業（一般利用）	市民	H8	主催事業参加者数	人	3,000	3,000	3,000	2,000		C	継続	市民の野外でのレクリエーション活動を推進するため、地域・家庭・学校を取り巻く環境の変化や自然体験活動に対する市民ニーズの高まりなどに対応しながら、継続して事業を実施する。
						2,507	2,266	2,304	1,950				
12	ニュースポーツ普及促進事業	市民	H14	ファミリーバドミントン参加者数	人	130	130	130	130	130	C	継続	地域において、市民がより自発的に、また、いつでも気軽にニュースポーツに取り組めるよう、ニュースポーツ用具の貸出や大会の開催、スポーツ情報システム「Uスポーツ」等を活用した情報提供などに継続して取り組む。
				ニュースポーツ貸し出し件数	件	60	60	60	60	60			
13	全国スポーツ・レクリエーション祭の開催	市民，市 外在住者	H22	イベント等出展数		-	-	5	8	-	C	終了	全国スポーツ・レクリエーション祭の開催が終了した。
				市主催イベント等における周知啓発人数		-	-	2,000	2,500	-			
						-	-	2,205	2,844				